

2026 年 5 月 20 日

各 位

株式会社大和証券グループ本社
Airborne Capital Limited

Airborne Capital Limited への資本参画および提携拡大に関するお知らせ

2026 年 5 月 20 日、株式会社大和証券グループ本社（代表執行役社長：荻野 明彦、以下「大和証券グループ本社」）と Airborne Capital Limited（CEO：Ramki Sundaram、以下「エアボーン社」）は、エアボーン社への資本参画および航空機リース分野における提携拡大（以下「本提携」）について合意いたしましたのでお知らせいたします。

■本提携の背景と目的

日本経済は、バブル崩壊後の長期にわたる低成長局面やコロナ禍の影響から回復し、企業収益の改善や賃上げの進展を背景に、投資と消費の好循環が広がりつつあります。加えて、資本効率の向上や企業統治改革への取り組みの深化により、国内外の投資資金の流入が継続しており、中長期的な成長に向けた基盤整備が進展しています。

こうした環境の下、インフレ環境の定着や金利水準の変化を踏まえた分散投資の重要性がより一層高まっています。安定的なキャッシュフローの確保およびポートフォリオのインフレ耐性強化を企図した実物資産を裏付けとするオルタナティブ投資のうち、航空機リースについては、グローバルな航空需要の回復および構造的な供給制約を背景に、投資対象としての魅力が益々高まっています。世界の航空旅客需要は、コロナ禍後の回復局面を経て拡大基調にあり、足元では地政学リスクへの懸念も指摘されるものの、中長期的には新興国を中心とした需要増加が見込まれています。一方で、機体メーカーの生産制約やサプライチェーンの逼迫を背景に新造機の供給は限定的であり、既存機材の有効活用やリース活用の重要性が高まっています。

このように、航空機リースは、投資家にとっても安定した賃料収入と資産価値の維持が期待できる投資機会として、有望な資産クラスと位置づけられています。

これまでも、大和証券グループとエアボーン社は、両者の強みや経営資源を活かすことで、幅広い投資家層に魅力的な航空機投資機会を提供するべく提携を行ってまいりました。2024年11月22日リリース「[大和証券グループと Airborne Capital Limited の航空機リース分野における資本業務提携に関するお知らせ](#)」にてお知らせしたとおり、ウェルスマネジメントビジネスにおいて、超富裕層をはじめとするお客様のニーズに対するソリューション提供力強化を目的として合弁事業の展開を公表し、2025年1月からは大和エアボーン株式会社（以下「大和エアボーン」）として営業を開始しています。また、2026年1月15日リリース「[オープンエンド型航空機ファンドへの取り組みに関するお知らせ](#)」にてお知らせしたとおり、機関投資家のお客様向けに航空機ファンドの投資機会の提供を進めていく方針です。このような取り組みを通じて、大和証券グループではアセットマネジメントビジネスにおいてもエアボーン社との連携が広がっています。この連携を更に加速していくため、事業パートナーとしての関係にとどまらず、資本関係を通じて中長期的な成長を共に目指すべく、大和証券グループ本社によるエアボーン社への資本参画について両社で合意いたしました。

■本提携の内容

1. 資本取引の概要

- 大和証券グループ本社はエアボーン社の既存株主から普通株（議決権比率 10%）を取得するとともに、エアボーン社が発行する劣後債を取得する予定です。
- 将来的に大和証券グループ本社の裁量により議決権比率を 20%まで高めることが可能となる新株予約権も併せて取得する予定です。
- 上記の資本取引に加えて、大和証券グループからエアボーン社に対して取締役を派遣する予定であり、エアボーン社の経営に参画することで、提携関係のより一層の深化およびエアボーン社の中長期的な企業価値向上を図ってまいります。

2. 航空機リース分野における業務提携の内容

- エアボーン社および株式会社マーキュリアホールディングスの子会社である株式会社マーキュリアインベストメントが協働で運営する、オープンエンド型^{*1}の航空機ファンド（以下「マッハ OE」）について、大和証券グループの大和アセットマネジメント株式会社および大和かんぽオルタナティブインベストメンツ株式会社が参画し、機関投資家等に航空機への投資機会を提供してまいります。マッハ OE は今般、投資家マーケティングを開始しており、今後幅広い機関投資家のお客様に対して航空機への投資機会の提供を図ってまいります。

- 2025 年 1 月に営業開始した大和エアボーンを通じて、超富裕層をはじめとするお客様に JOL^{※2} 商品を提供していますが、より魅力的且つ安定的な JOL 商品の提供を目指すために、エアボーン社とその有力なパートナー企業が連携しウェアハウジング機能を提供してまいります。
- より幅広い投資家層に航空機投資機会を提供していくため、エアボーン社と連携し魅力的な商品の開発を行ってまいります。

※1 オープンエンド型：ファンド運営期間内において途中での投資・解約が可能なタイプのファンド

※2 JOL：日本型オペレーティングリース。Japanese Operating Lease の略

■代表者コメント

大和証券グループ本社 荻野明彦代表執行役社長のコメント

大和証券グループは、グループ経営基本方針として「お客様の資産価値最大化」を掲げています。より深いお客様理解に基づき、ポートフォリオ提案を主軸としたお客様資産全体への包括的なコンサルティング（総資産コンサルティング）を実践し、中長期的な視点で最善のパフォーマンスを追求していくことで、お客様の資産価値／企業価値の最大化に貢献してまいります。

航空機リース分野においては、富裕層や事業法人等のお客様に対し、エアボーン社と大和エアボーンを通じてオーダーメイドの JOL ソリューションを提供しており、超富裕層のお客様向けのキープロダクトの位置づけとなっています。また、日本初となるオープンエンド型航空機投資ファンドの展開においても、機関投資家のお客様に対して魅力的で独自性のある投資機会の提供が可能となることから大変期待しています。このような社会に対して新たな価値を提供していく取り組みは、資産運用立国の実現にも資するものです。

今後もエアボーン社との連携を加速し、様々なお客様層に航空機投資機会の提供を図るとともに、グループ全体でのシナジー最大化を目指してまいります。

エアボーン社 ラムキ・スندگانラム CEO のコメント

当社は日本において JOL ビジネスおよび航空機投資ファンドビジネスを展開してまいりましたが、日本における幅広いお客様基盤と革新的なソリューションを有する大和証券グループとの提携は、いずれのビジネスにおいても飛躍的な成長に繋がっています。

当社のグローバル成長戦略において重要な市場である日本において、大和証券グループに資本参画していただき、より強固な体制で事業に取り組めることに大変嬉しく感じています。大和証券が持つ高付加価値のお客様本位のソリューション提供力と、当社の航空分野の専門知識を融合し、日本において専門性の高い航空機リース商品の提供の拡大を目指してまいります。

■会社概要

大和証券グループ本社について

会社名	株式会社大和証券グループ本社
所在地	東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号 グラントウキョウ ノースタワー
代表者	代表執行役社長 荻野 明彦
発足	1999 年 4 月 26 日
URL	https://www.daiwa-grp.jp/

Airborne Capital Limited について

会社名	Airborne Capital Limited
所在地	5th Floor, The Exchange, George' s Dock, IFSC, Dublin 1, Ireland
代表者	CEO Ramki Sundaram
設立	2017 年 9 月 11 日
URL	https://airborne.capital/

■本提携の日程

2026 年 5 月 20 日に最終契約を締結し、その後エアボーン社の既存株主から普通株を取得する予定です。また 2026 年 7 月以降にエアボーン社が発行する劣後債に対する資金の払込が行われる予定です。これらの日程は手続き等により変更となる場合があります。

■今後の見通し

本提携が大和証券グループ本社の 2027 年 3 月期の連結業績に与える影響は、現時点においては軽微と見込んでいますが、本提携を通じた各種取り組みを推進することにより、中長期的な企業価値向上に向けて取り組んでまいります。

なお、今後、本提携における具体的な施策の進捗により業績に影響を与えることが判明した場合には、速やかに公表いたします。

以 上